

# 小学校国語科の「書くこと」における 「おおむね満足できる」状況の見取り方の研究 — 客観的な見取りに生かせる「見取り方参考例集」の開発 —

## 研究構想図

長期研修員 鳥塚 嘉紀

### 「書くこと」における授業づくりの課題

- ・ 単元計画の際、見取るべき児童の姿が明確に想定できていない
- ・ 評価が児童の学びや指導の改善につながっていない
- ・ 教師の主観に左右され、客観的な評価になっていない



## 「見取り方参考例集」を活用すると

### ① 単元計画を立てる場面

**見取り方参考例集**

1-2年生 言語活動例 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動
指導事項 経験したことや想像したことの中から書くことを見取り、必要な事柄を選び取り順がめたりして、伝えたいことを明確にすること。
題材の選定 絵や写真から想像をして、どのような物語にするか決めている。
情報の収集 登場人物の性格や「始め」「中」「終わり」の場面ごと起こる出来事を考え、「始め」「いつ」「どこで」とどのような出来事が起こったか「どうなったか」などの内容ごとに、付箋やカードに簡単に書いて集めている。
内容の検討 集めた登場人物の性格や「始め」「中」「終わり」の場面ごとに起こる出来事などが、自分が想像した物語の内容に合うかを確かめている。
指導事項 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へること。
構成の検討 自分が伝えたい物語の内容になるように、出来事をカードや付箋に書いたものを「始め」「中」「終わり」の場面ごとに並び替えて物語の構成を考へている。

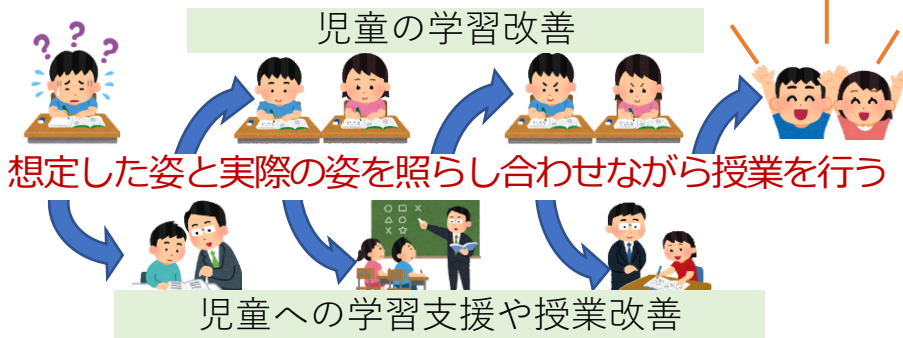
指導事項イ	自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へること。
構成の検討	自分が伝えたい物語の内容になるように、出来事をカードや付箋に書いたものを「始め」「中」「終わり」の場面ごとに並び替えて物語の構成を考へている。

指導事項の「おおむね満足できる」状況を達成した児童の具体的な姿が示されているので、その姿を参考にすることで、指導事項を達成した児童の姿を明確に想定できる



### ② 授業を行う場面

#### 児童の姿を客観的に見取り、評価を指導に生かす



想定した児童の姿と授業での児童の姿を照らし合わせて客観的に見取ることで、指導と評価の一体化を心掛けた授業ができる



### ③ 評価を行う場面

児童Aの構成表

場面ごとの構成	場面ごとの構成	場面ごとの構成
場面ごとの構成	場面ごとの構成	場面ごとの構成
場面ごとの構成	場面ごとの構成	場面ごとの構成

「おおむね満足できる」状況で達成している

全て達成

カードを並び替えて、構成を考へている

合った場所にカードが置かれている

実際の児童の姿

照らし合わせて見取る

「見取り方参考例集」を基に想定した、指導事項を達成した児童の姿

指導事項を達成した児童の姿を想定しているので、児童の活動の様子や作品と照らし合わせることで、客観的に見取って評価ができる



「書くこと」を指導事項とした、国語科の授業づくりに自信がもてる

- ・ 単元計画の際、見取るべき児童の姿が明確に想定できるように
- ・ 評価が児童の学びや指導の改善につながるように
- ・ 教師の主観に左右されずに、客観的な評価になるように

授業づくりの課題解決を目指して「見取り方参考例集」を作りました！



# 見取り方参考例集

言語活動例ごとに  
全学年分を作成

1・2年生 言語活動例ア

身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、  
見聞きしたことを書く活動

指導事項ア	経験したことや想像したことをめたりして、伝えたいことを書く活動
題材の設定 情報の収集 内容の検討	・経験したことや身の回り・身の回りで観察したことを集めている。 ・集めた情報が、伝えたいことになっている。
指導事項イ	自分の思いや考えが明確になるように、調べたことを記入したメモや付箋などを並び替えて、事柄の順序に沿うように構成を考えている。
構成の検討	・自分の伝えたいことが明確になるように、調べたことを記入したメモや付箋などを並び替えて、事柄の順序に沿うように構成を考えている。
指導事項ウ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。
考えの形成 記述	・時間や順序を表す語を適切に用いたり、「始め」
指導事項エ	文章を読み返す習慣を付け方を確かめたりすること。
推敲	・書いた物を読み返し、付箋に沿って書かれているかを
指導事項オ	文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。
共有	・事柄の順序に沿って書かれているかについて着目しながら感想を伝え合い、自分の表現のよいところを見付け、線を引いたり印を付けたりしている。

言語活動例に合わせた「おおむね満足できる」状況を達成した具体的な児童の姿を各指導事項で示しているのので、言語活動を通して何を見取るのかが分かり、単元計画や客観的な見取りに生かすことができる

学習過程を示しているのので、学習指導要領と同じように見ることができ、使いやすい

指導事項と具体的な児童の姿とを合わせて見ることができるので、単元で身に付けさせたい力を意識した単元計画や、指導と評価の一体化した授業づくりに役立つ



「見取り方参考例集」を活用して、授業者と参観者で児童を見取った結果を比べたところ、97%という高い一致率を得られました



「見取り方参考例集」を使うと見取るべき児童の姿が明確になり、指導事項を意識した授業を自信をもって行うことができました

## 成果

教師が指導事項の「おおむね満足できる」状況を達成した児童を想定する際の参考となり、その姿を基にして単元計画を立てたり、指導や評価を行ったりすることに役立った

## 課題

「努力を要する」状況の児童に対する手立ては、「見取り方参考例集」で示した児童の姿を参考にし、想定する必要がある

## 提言

「書くこと」における「見取り方参考例集」を参考にして、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の授業を行う際にも、指導事項を達成した児童の姿を明確に想定しましょう